

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要					
事業開始年度		根拠法令・例規等	循環型社会形成推進基本法		
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」		
	中項目 基本計画	09	環境を大切に未来につなぐまち		
	小項目 施策	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築		
事務事業名	06	ごみ処理施設整備事業	問 担当課(室)	環境課	
			合 職・氏名	衛生係長・國光裕一郎	
			先 電話	64-1821	
			このシート作成に要した時間		1.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	一般廃棄物の処理を必要とする市民・市内業者	事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価
目的(何のために)	備前市内で発生する一般廃棄物を、適正かつ効率的に処理する事により、生活環境の保全につなげる。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	ごみ分別区分の統一やごみ処理施設の集約等を図り、公平な行政サービスの確保とごみ処理の効率化に努める。	

Plan

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	ごみ処理施設整備基金積立事業	ごみ処理施設整備に向け基金の積立を行う。	

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	0	0	10,005
	必要人員	人	0.00人	0.00人	0
	費用	千円	0	0	10,005
	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円			
財源	千円				
市債	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円			10,005	
受益者負担比率	%		-	-	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量				
	対前年比	%			
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
成果指標名	目標値(A)					
	実績値(B)					到達目標値
	達成率(B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明						
新たな施設の整備を進める事業のため、成果指標の設定ができない。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >					Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている					妥当性評価 ABCDE 高や普や低いや通やい 高 低い
	必要性	<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある					
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている					効率性評価 ABCDE 高や普や低いや通やい 高 低い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している					

が事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
	○	○					
説明	和気北部衛生組合が平成25年度で廃棄物処理を中止したことに伴い、平成26年度から日生・吉永地域分のごみをクリーンセンター備前で焼却する。処理能力の維持もさることながら、使用期限があるため早急に更新施設の整備を進める必要がある。						

総合評価		
現施設では、平成26年度からの焼却量増に向けて、能力向上の整備が必要であるが、併せて新たに施設を整備する準備も進めなければならない。現施設の地元との調整と、新たに用地を確保するための地元調整が最優先となる。混乱を招かないよう、関係機関とも十分な調整を図り、慎重に進めていく必要がある。	総合評価 ABCDE 高や普や低いや通やい 高 低い	A

平成27年度の方向性・取組目標		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性		○	○					
	取組目標	積立事業は継続的に行う。 用地の確保ができ次第、基本計画、測量・地質調査、生活環境影響調査など、次の準備に取り組む。						

Action